



おがさわら

議会だより

第 145 号



小笠原村平和都市宣言碑の前にて（父島・母島）

今般のロシアによるウクライナ侵攻に対し、小笠原村ではその事態に強く憂慮し、次のとおりメッセージを発信することになりました。
なお、このメッセージは在日ロシア連邦大使館にもメール送信いたしました。



ロシアによるウクライナ侵攻の即時停止を 求めるメッセージ

2月24日より始まった、ロシアによるウクライナ侵攻に対し、平和都市であることを宣言した小笠原村は、即時停止・撤退を求めます。
ウクライナ国民だけでなく、ロシア国民も含めた全世界の人々が、平和を求めており、ウクライナに一刻も早い平和が訪れることを願います。

令和4年3月1日
小笠原村長、小笠原村議会一同

予算特別委員会	2
議案審議	4
委員会報告	5
一般質問	6
議長出張報告・編集後記	10

令和4年度予算特別委員会 3月17日、18日

築館俊一委員長

片股敬昌副委員長

村長から令和4年度の予算案の提出を受け、村議会では予算特別委員会を設置し、2日間にわたり皆様から納めていただく税金の使い道を審査しました。その結果、委員会に委員全員賛成ですべての予算案が提案どおり可決し、議長あてに報告書をまとめました。

- ✓ 遺骨収容事業に係る車両・重機の購入 3,052万5,000円
- ✓ 観光ビジョン策定業務委託 1,100万円
- ✓ 奥村分譲地造成、地盤改良、予定地購入 5,615万3,000円
- ✓ 参議院議員選挙費 541万2,000円

使用料・手数料

問 コロナでできなかつた部分もあるかと思うが、令和3年の見通しは。令和4年度の予算が2億100万円となっているが、どういう見通しなのか。(清水)

答 令和3年度の見込みは、予算額と同額程度の歳入となる見通し。使用料・手数料の今年度の内訳については過去の実績に基づいて算出をしている。(財政課長)

防災用備品

問 防災倉庫の設置費用というのは計上されていない。防災用の備品の保管にも支障をきたしているがどのように早期処理を行おうとされているのか。(安藤)

答 村の各施設において最低限使えるものに関しましては、施設屋内のデッドスペースなどを利用している状況。今後については、現在検討中のため令和4年度には予算を計上していない。(総務課長)

扇浦レストハウス設備改修工事

262万6,000円

問 どのような工事をされるのか。(清水)

答 扇浦休憩所のトイレの便器や排水管が腐食して、詰まり等のトラブルが頻発しているため、必要な部品の交換をする。(産業観光課長)

母島中学校施設管理事業費

1,314万7,000円

問 母島中学校エアコン取替工事というのが出ているが状況はどうなっているのか。(清水)

答 室外機の腐食が進み、大体今10年たたずに更新を続けている状況。できれば壁かけ式とか簡易な形の更新を考えていきたいということで、令和4年度の工事については経費の削減を図っているところ。(教育課長)

支所費

問 新規で庁有車の購入はどのようなものを買う予定になっているのか。(清水)

答 庁有車の購入については、現在使用しているものが経年劣化で来年度使用に耐えないということで、新しい庁有車を購入する。(母島支所長)

アジアベッコウマイマイ防除対策

284万9,000円

問 今、これがどの辺まで広がっていて、新規でどういう対策を考えているのか聞かせてください。（稲垣）

答 草木置場の周りに駆除剤をまく等、今後の対策に関してどのように進めていくかという計画をつくるための費用になる。（環境課長）

海洋センターの管理運営事業

2,618万3,000円

問 毎年改修改築というようなことを考えると、今の位置でいいのか。将来的にはなるべく被害の少ない場所を考えるべきではないか。（片股）

答 現在進めている小・中学校の建て替えや、その後も色々な予定がある中で、まだスケジュールは未定だが、建て替えるということは必要だと認識している。（産業観光課長）

診療所運営費 委託料

8,876万円

問 令和4年度の予算が大きな数字になっているようだが、何が増えているのか。

（清水）

答 主立ったものとしては、空調設備の保守点検、建築設備の定期検査、精神科の専門診療、医療画像保管システムの保守点検、母島の高圧蒸気滅菌装置の保守点検等により増額になっている。（医療課長）

令和4年度予算特別委員会 委員長報告（意見抜粋）

多種多様な行政課題へ取り組むことで、小笠原村役場職員の負担はますます増加していくが、村民生活の安心・安全を保全する責任ある対応を図られたい。

今後、小笠原小中学校・母島保育施設など大規模な整備事業が予定されており、次世代を担う子供たちのための確実な整備の実施を進めていただくと同時に、将来に過大な負担を残さないよう、慎重な財政運営に努められたい。

現在見込める財源は確実に収入することはもとより、自助努力で島の環境を守るため、新たな財源確保について、あらゆる可能性を模索されたい。

予算の執行にあたっては、事業の進捗管理を計画的に行い、未執行事業を出すことのないよう努められたい。

なお、本予算特別委員会の審議の中で、予算審議を可決した経緯も考慮し、各委員からの指摘や要望・意見があった事項については、今後の施策、財政運営に積極的に取り組み、村民生活の安定・向上のために予算を確実に執行されたい。

令和3年度一般会計補正予算（専決処分：3件）を承認

- ✓ 子育て世帯への臨時特別給付金増額分 2,600万円
- ✓ 住民税非課税世帯等への臨時特別給付金 4,163万1,000円
- ✓ 新型コロナウイルスワクチン接種事業費 1,423万7,000円

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の改正

特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の改正

職員の給与に関する条例の改正

この3件は、人事院の給与改定に関する勧告に基づく国家公務員給与改定に準じた、期末手当及び給与に係る内容の改正です。

中ノ平自立支援農業団地条例の改正

母島の中ノ平農業団地の利用区分の変更が生じたことによる改正です。

小笠原村立休憩所の設置及び管理運営に関する条例の改正

村立休憩所（小港・扇浦）の改廃に伴う改正です。

小笠原村営バス事業に関する条例の改正

4月から村民の定期乗車券の有効期間が変更（3か月→1年）になることの改正です。

令和3年度一般会計補正予算を可決 歳入歳出に総額6,744万2千円を追加 一般会計総額 57億5,354万7千円となりました。

主な項目

- ✓ 総合行政システム経費増額分 272万8,000円
- ✓ 各種基金への積立 9,908万3,000円
- ✓ 令和3年度事業費減額措置（繰越明許費として）
- ✓ 小笠原小中学校整備事業 5,040万9,000円（橋梁補修工事（振興事業））
- ✓ 小笠原村診療所空調設備整備事業 4,000万円（振興事業）
- ✓ 道路整備改良事業 1,998万9,000円
- ✓ 住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業 1,671万3,000円 など

このほか、小笠原村国民健康保険条例の改正、小笠原村国民健康保険税条例の改正、令和3年度小笠原村国民健康保険特別会計と小笠原村簡易水道事業特別会計の補正予算、小笠原村父島辺地及び母島辺地に係る公共的施設の総合整備計画（令和2～4年度）、東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更が可決されました。

このほかの議案等の審議結果は、小笠原村ホームページをご覧ください。

総務委員会 3月11日

安藤重行委員長 清水良一副委員長

新型コロナウイルス感染症対策

令和3年12月の委員会以降の国・東京都・村の対応などについて報告を受けました。

小笠原諸島世界自然遺産

関連する主な会議のスケジュール、愛玩動物の適正な飼養及び管理に関する条例（ペット条例）、母島における貝食性コウガイビル分布の状況、オガサワラカワラヒワの保全状況、兄島のグリーンアノール対策について報告、質疑がありました。

硫黄島調査特別委員会 3月11日

片股敬昌委員長 杉田一男副委員長

令和3年12月の委員会以降の硫黄島に関する動きについて報告がありました。

遺骨収集帰還事業

▶通年実施している滑走路地区の掘削作業、遺骨収集作業等のスケジュールについて報告がありました。遺骨収集は4回実施する予定の4回目は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。

その他の報告

- FCLP空母艦載機離着陸訓練
- 海上自衛隊訓練のHRS訓練、LCAC訓練
- 基地交付金・調整交付金の報告
など

小笠原航空路開設推進特別委員会 3月11日

杉田一男委員長 稲垣 勇副委員長

令和3年12月の委員会以降の航空路開設推進に関する動きについての報告がありました。

築館俊一議員



村の危機管理について

築館議員 去年の今頃は島民の安心安全を守るため、島民一丸となりコロナに立ち向かっていた。だがPCR検査をしているにも関わらず、父島・母島にもコロナ陽性者が始まっている。PCR検査、村の危機管理の状況等、説明して頂きたい。

総務課長 村としては、村内への流入、感染拡大を防止するために、これまでに引き続き、乗船する皆様にご協力をいただきながら竹芝栈橋において定期船乗船前のPCR検査を運航会社、東京都などと共に実施しているところであり、乗船当日においても、体温測定を実施するなど、でき得る対応を行っているところ。

村内で感染者が発生した場合についても、保健所等関係機関とともに、今後も関係機関と連携しながら、感染防止対策に努めていく。村民の皆様に対しても、引き続きご協力をお願いしていく。

築館議員 昨年と比べ、村民の危機感が薄れていると感じるが、村長はどのようなお考えを持っているか。

村長 議員がおっしゃるところの危機感が薄れているというのは、少なくとも私の中にはないところ。

今後も行政としてやれることは続けていくが、この新型コロナウイルスについては油断せず、しっかりとした対応を皆さんと一緒に続けていきたい。

安藤重行議員



所信表明の高齢者福祉の基本理念「明るく活力ある社会を構築する」支え合いの支援体制づくりについて

安藤議員 ①地域ケア会議を活用した村長が考えている福祉とは。

②所信では明確化されている所とされていない所があり、村民には分かり難い。誰にでもわかりやすく明確にしていくべきでは。

③国民年金受給者は生活苦があり資金的支援が必要になってくるが、特に68歳を超えると就業先の確保が難しくなっている。この方たちをどう支えていくのか。

④福祉対応はマンパワーが必要。その担い手の村民課をどのように構築するのか、職員確保をどう考えているのか。

村長 ①森下村長の意思を受け継いで行政の大きな目標は「村民の幸せ」であります。福祉とはまさに村民の幸せであり、その実現の村政全般に渡って尽力し、職員・関係機関と共に福祉の向上を図っていく。

②所信は各施設の基本的な考えで、具体的なことについては広報や福祉のように個別対応が重要になる場合が多いのでその対応をしている。障害者等でも専門機関に参加してもらい、個々の相談等にも応じてもらっている。

③高齢者の就業支援は就業機会の創設はそれぞれの求めに対応していくことで、情報の提供や就業の場づくりに対応していきたい。

④人材確保に奔走している日々であり、村組織全体を見回しながら職員が最大限能力を発揮できるように私自身も努力していく。

安藤議員 高齢者の社会参加と自立生活ができるように支え合い支援する仕組みづくりとトータルケアを基本にすることが重要。

稲垣 勇議員



母島のシロアリの現状と対策について

稲垣議員 昨年3月以降の母島のシロアリの現状とその対応について伺いたい。

環境課長 昨年6月頃の元地、静沢、蝙蝠谷の範囲のイエシロアリの群飛調査を、39日間の夜間調査を行ったが1頭も捕獲されなかった。平成23年度から群飛調査を始めてから11年経過したが、初である。北部については、北港から桑ノ木山まで調査した。9日間の調査で約1万頭で昨年と比較して3分の1程度に減少しているが南下の傾向がある。北港、東港、長浜トンネル周辺でイエシロアリ47か所の駆除処理をした。母島は父島と比べて生息密度が低いので発見が難しいが探査駆除を続け、生息密度低減を目指す。

稲垣議員 イエシロアリ等の母島への侵入防止に関する条例があり父島や他産地からの土付き苗の持ち込めず母島の農業の足かせになっていると思われる。母島に新たな外来種が侵入しないことが大前提であるが、農業振興のためにもなにか検討を考えているのか。

環境課長 条例があるが、すでに母島に生息しているのも事実であり、連絡調整機関の環境省、林野庁、国有林課、東京都においての世界自然遺産管理に位置付ける、多くの外来種駆除事業を実施し農業振興に努めていく。

清水良一議員



外来種の考え方について

清水議員 ①現在の外来種対策と予算は？②外来種に対する村長および教育長の考え方は？③外来種利用の現状は？④駆除したノヤギを埋却処理するのではなく食べて処理する道筋は？

①**環境課長** 自然環境保全対策としてノヤギは銃やくくり罠により駆除。ノネコは籠わなにより捕獲、東京都獣医師会の協力により新たな飼い主に譲渡。グリーンアノールは多くの対策を継続。シロアリは30年間対策事業を継続。アカギ等は薬剤を注入して駆除。

令和2年度の外来種対策に使った予算は環境省、林野庁、東京都合わせて1億3000万円。

②**村長** 自然環境保全のための外来種対策が行われてきた。視点を変えれば見え方が変わる。よし悪しは簡単ではない。その悩みを持ちつつ継続していく。

③**教育長** すべての教科で生命尊重の精神を育み、外来種の生命についても学び、善悪ではなく、生態系の大切さや多様性を理解しながら自分なりの答えを見出せる深い学びの場を提供していく。

④**環境課長** アカギやモクマオウは掲示板や木工製品などに一部使用、処理木はチップ化し一部を堆肥混入に利用。

⑤**産観課長** 本村が事業主体となってヤギを産業として活用していくことは考えていない。民間が活用することを妨げるものではない。

副村長 保全対象種に利するものであれば利活用もやるべき。

村長 自家消費の道は村が介在しなくてもできる道はある。

杉田一男議員



漂着物を含む海洋ゴミ全般について

杉田議員 何度かこの問題について質問してきたが、状況は悪くなっている感じが強く、改めて村長に伺う。一点目は海洋ゴミの現状をどう認識しているのか、そして今後どう対応していくのか。二点目は漂着物の撤去について課題が多いと聞いている。環境課の撤去に向けての経緯を実際に実施した弟島の取り組みについて伺う。

村長 海洋ゴミの認識についてはゴミ問題は世界的な問題であり、海に囲まれた自然遺産の島であり、重要課題であると思っている。生態系や環境破壊にも大きな影響を与えることを考えると都や国とも連携し、村民の皆様の協力を得ながら早急に村としても取り組んでいく。

環境課長 弟島の漂着物の撤去については各島毎に海岸線の管理責任は違っており、弟島についていえば林野庁が所管しているが処理責任や、費用負担等が明確ではなく、対応が難しい点もあり、総合事務所や関係機関の協力を得て撤去作業を11月に無事完了することが出来た。この事により今後も増えてくると思われる漂着物撤去の道筋が見えてきた。今後とも迅速に対応できるように関係機関とも協議をしながらしっかりと取り組んでいく。

杉田議員 これからの村の対応や発信を見ていく。特にマイクロプラスチックの温床である海岸ゴミについてはしっかりとした取り組みをお願いしたい。

片股敬昌議員



小笠原の海岸ゴミについて

片股議員 海岸で拾われたゴミが放置されているのは景観上よくない。

環境課長 月曜日を中心に回収している。洲崎の二見湾側は連絡がきてから回収している。

片股議員 村がごみの回収箱を置くか集積場所を指定しては。

環境課長 ごみの持ち帰りをお願いした経緯から集積場所を指定せずボランティアや民間業者等の取り組みを支援していく。

片股議員 ボランティアの方々にゴミ袋の無料提供があっても良いのでは。

環境課長 団体で清掃される場合フレコンバッグを貸し出しているがプラスチックごみを増やさないため無料配布はしていない。

片股議員 回収困難な海岸に大きな漂着物がある場合は。

環境課長 海岸には必ず管理者がいるので連絡くださればその管理者に処理をお願いしている。

片股議員 父島では子供たちや保護者、教職員などが一緒に美化運動をしていたがどうしてやめることになったのか。

環境課長 村民有志や民間業者等の美化活動が活発になったことから村主催の美化活動は役目を果し終えたと判断した。

片股議員 タバコのポイ捨て対策は。

環境課長 自分のごみは持ち帰り分別して排出してくれるようお願いしており、モラル向上を図るべきだと考えている。

片股議員 タバコの吸殻拾いや前浜の海岸清掃など多くの方々の奉仕で島内美化が保たれている。

島内 NPO の団体にも敬意を表したい。

令和4年第2回定例会会議日程表（予定）

月 日	開始時間	会議名	内容
6月 8日（水）	午前10時	本会議	会期の決定、一般質問等
6月 9日（木）	午前 9時	総務委員会	
	午前11時30分	硫黄島調査特別委員会	
	午後 2時	小笠原航空路開設推進特別委員会	
	午後 3時	本会議	議案審議

本会議、各委員会は傍聴できます。開会5分前まで傍聴受付を行っています。
テレビ11チャンネル中継放送を、Youtubeでライブ配信を行います。ぜひご覧ください。



会議での発言内容など詳しく知りたい時は、会議録をご覧ください。

- 村役場議会事務局
- 地域福祉センター図書室
- 母島支所
- 母島村民会館図書室



で閲覧できます。

パソコンやスマートフォンなどで見ることもできます。

小笠原村公式サイト→議会事務局→会議録で 検 索

平成 24 年の本会議、委員会から、会議録検索システムで閲覧・検索ができるようになりました。過去の会議については順次掲載する予定です。

議長出張報告



出張日	出張先、会議名	出張の用務
1月1日	成人式（父島）	出張の用務（同行者）
2月10日	東京都町村議会議長会第2回定期総会	会議出席（オンライン）
2月18日	島しょ町村会・島しょ議長会合同会議 東京都島嶼町村一部事務組合議会全員協議会 東京都島嶼町村議長議長会定期総会	会議出席（オンライン）
2月28日	硫黄島連絡会議	会議出席（オンライン）
3月18日	小笠原中学校卒業式	式典出席
3月29日	日本郵便株式会社	日本郵便による直営局の要望（村長同行）

編集後記

小笠原は平和都市宣言をしている島であり、世界中の人々が平和に生きる者として不戦と恒久平和を誓い、豊かな自然を後世に残すと宣言した島であり、分かちあえることを願っています。ウクライナ・ロシアの状況が世界を震撼させている現状において、平和を思う小笠原島民としては悲しい歴史を思い出します。平和都市宣言の島、小笠原島民としてこのような戦争は断固反対します。1日も早く、終息する事を願っております。

築館俊一

★ 議会だより編集委員

安藤重行 清水良一
築館俊一

